

教育職員検定の出願（上進）

【根拠法令：教育職員免許法別表第3】

基礎となる教育職員免許状を取得した後、**教員としての在職年数及び所定の単位の修得**により、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭の**上級の免許状**を教育職員検定で取得しようとする場合、下記の書類を提出してください。

【提出書類および記入方法】

1 教育職員検定願(第5号様式)

- ① 受けようとする教育職員免許状の**学校種、教科ごとに別々の用紙**を用いること。
- ② 手数料として**沖縄県収入証紙を5,000円分**貼付すること。(沖縄県内の銀行で購入する)
- ③ 本籍、氏名は戸籍抄本どおりに正式に記入すること。**(氏名のふりがなも必ず記入すること)**
- ④ 生年月日は元号(昭和・平成など)で記入すること。
- ⑤ 電話番号は確実に連絡のとれる番号を記載すること。(携帯電話等)

2 戸籍抄本

- ・本籍地の市町村役場で取得。**発行から3か月以内のもの。(住民票ではない)**

3 学校又は勤務先控の履歴書の写し(A4サイズでコピー **校長又は勤務先の原本証明を付すこと**)

4 宣誓書(第3号様式)

※本務教員は提出不要。

5 実務に関する証明書(第4号様式)(開封無効)

- ① 履歴書の教員としての経歴と年月日まで一致させること。
- ② 在職期間及び在職年数には**申請日現在**までの在職期間及び在職年数を記載すること。また育休などの休職期間は記載しないこと。
- ③ 教員としての勤務についてのみ記載すること。

6 人物に関する証明書(第6号様式)(開封無効)

7 教科に関する証明書(第7号様式)(開封無効)(該当者のみ)

※ 中学校及び高等学校教諭の免許状取得の場合のみ

※5, 6, 7について

- ・所属長又は所轄長において**厳封**にすること
- ・所属長、所轄長欄の記載について
- ① 公立小学校・中学校に勤務している場合
所属長欄…校長の署名及び公印、所轄長欄…市町村教育委員会教育長の署名及び公印
- ② 県立学校に勤務している場合
所属長欄…校長の署名及び公印、所轄長欄…記載不要
- ③ 私立学校に校勤務している場合
所属長欄…校長の署名及び公印、所轄長欄…学校法人代表の署名及び公印

8 非常勤講師に係る勤務日数等について(任意様式 該当者のみ)

※実務経験年数に非常勤講師の経歴を参入する場合必ず提出すること。

※臨時的任用職員や本務の教員としての実務経験年数が修得要件を満たしている場合は不要。

- ・小中学校の勤務証明依頼先：勤務した学校を管轄している教育事務所
- ・県立学校の勤務証明依頼先：教育庁学校人事課県立学校人事班

※非常勤講師を実務経験として認める場合の算定方法

常勤の教員の授業時数を年間700時間として非常勤講師の実務を算定する。

例 H25年度…A中：週9時間勤務の年間35週勤務しH26年度…B中：週7時間勤務の年間30週勤務している場合

$9 \times 35 = 315$ 時間、 $315 \div 700 = 0.45$ 、 12 ヶ月 $\times 0.45 = 5.4$ 月をA中学校で勤務した一年間のうち実務経験として認める。

$7 \times 30 = 210$ 時間、 $210 \div 700 = 0.3$ 、 12 ヶ月 $\times 0.3 = 3.6$ 月をB中学校で勤務した一年間のうち実務経験として認める。

→よって非常勤講師として勤務した二年間の内、9ヶ月を実務経験とする。

9 身体に関する証明書(第8号様式)

- ・現に教員として勤務する場合、定期健康診断書や人間ドックの結果の写し(A4サイズでコピー)に校長(所属長)の**原本証明**を付したものを提出することは可。

10 学力に関する証明書(開封無効)又は沖縄県教育委員会免許法認定講習単位修得証明書の写し(A4サイズでコピー)

○学力に関する証明書について

- ・学力に関する証明書は、大学が発行し、教育職員免許状の取得に必要な単位修得を証明するもの。
※成績証明書や単位修得証明書などの書類は教育職員免許状の授与・検定の申請では使用できない。
- ・申請時点の教育職員免許法に対応したもので発行してもらうこと。
- ・複数の大学で単位を修得した場合は、取得した単位に係る全ての学力に関する証明書を提出すること。

○免許法認定講習の単位修得証明書について

- ・沖縄県教育委員会以外の免許法認定講習を受講した場合、単位修得証明書は**原本**を提出すること。

11 沖縄県教育委員会免許法認定講習の修得科目一覧(該当者のみ)

※紛失などにより、沖縄県教育委員会免許法認定講習の単位修得証明書の写しを提出できない場合のみ提出すること。(単位修得証明書は再発行できないため)

- ・提出の際は受講年度をもれなく記入して提出すること。

12 教育職員免許状の更新関係証明書の写し(A4サイズでコピー 該当者のみ)

※過去に教育職員免許状の更新関係の手続き(更新、延期、免除、回復)を行っている場合、その後に教育委員会から発行された証明書(更新講習修了確認証明書等)の写しを提出すること。

13 所有する全ての教育職員免許状の写し(A4サイズでコピー)

※期限切れ失効となった旧免許状を持っている場合は、必ず免許状原本を提出すること。

- ・旧免許状など裏面(学位、卒業大学等が記載)にも記載があれば**両面の写し**を提出すること。

※12、13について

- ・教育職員免許状の更新関係証明書、教育職員免許状を紛失した場合は、発行から3ヶ月以内の授与証明書の原本を提出すること。
(授与証明書の交付は、当該免許状を授与した都道府県教育委員会に申請すること)

14 300円分の切手を貼付した返信用封筒(角形2号)又は返信用レターパック

※ 書類不備の際の差し戻しも提出された返信用封筒で「特定記録」で送付するため、切手は不足が生じたり、貼り忘れをしないこと。

- ① 角形2号：A4サイズの書類が入る程度の大きさ
- ② 送付先の郵便番号、住所、氏名(様)を必ず記載すること。
- ③ 速達を希望する場合は「速達」と記入し、速達料金分(260円)の切手も貼付すること。

【注意】

- ・2種類以上の教育職員免許状を同時に申請する場合は教育職員検定願(第5号様式)及び学力に関する証明書以外は1通でよい。
- ・誤って記入した場合は修正液や修正テープを使用せず、二重線で消した後、そばの余白に正しく記入すること。
- ・教育職員免許状の取得後、氏名、本籍地等に変更が生じた場合は速やかに免許状の書換を申請すること。

問い合わせ・提出書類送付先 沖縄県教育庁学校人事課 小中学校人事班

TEL 098-866-2730 FAX 098-866-2724

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号(県庁舎13階)

第5号様式（第8条—第10条、第11条、第12条、第13条—第15条関係）

沖縄県収入
証紙貼付欄

教 育 職 員 検 定 願

年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

本 籍

現 住 所

ふりがな
氏 名

生年月日 年 月 日生

電話番号

受けようとする 免許状の種類	教諭			免許状	
受けようとする 免許状の教科 又は教育領域					
有する免許状の 種類			教科又は 教育領域		
番号		授 与 年月日		授与 権者	

※欄は記入しないこと。

※ 受 付	※判定	※ 不合格の理由

第3号様式（第3条—第16条関係）

宣 誓 書

私は、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までに規定する者に該当しないことを宣誓します。

年 月 日

氏 名

沖縄県教育委員会 殿

備考

教育職員免許法第5条第1項

第3号 禁錮以上の刑に処せられた者

第4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者

第5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

第6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

第4号様式 (第3条、第8条—第9条の2、第10条、第11条、第12条、第13条—第15条関係)

実務に関する証明書				
本籍				
氏名			生年月日	年 月 日生
在職期間	在職年数	職名	勤務先	職務内容(担任教科等)
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				

上記のとおり良好な成績で勤務したことを証明する。

年 月 日

所属名

所属長 印

所轄名

所轄長 印

注：特別支援学校に勤務した場合にあっては、所属学部も職務内容欄に記入すること。

第6号様式（第8条—第15条関係）

人 物 に 関 す る 証 明 書			
本 籍			
氏 名		生年月日	年 月 日生
観察の区分	観 察 の 内 容		
性 格			
指 導 力			
研 究 心			
社 会 性			
勤 務 状 況			
教育職員としての適格性			
上記のとおり証明する。 年 月 日			
		所属名	
		所属長	印
		所轄名	
		所轄長	印
注：調査事項についてはできるだけ具体的に簡潔に事実をありのまま記入のこと。			

第7号様式（第8条、第16条関係）

教科に関する証明書				
氏名		生年月日	年	月 日 生
	在職学校	第 学年 科目及び時間数	第 学年 科目及び時間数	第 学年 科目及び時間数
年度				
年度				
年度				
年度				
年度				
出願教科に対する研究 と向上に努めた事項				
出願教科に対する教授 能力				
その他				
<p>上記のとおり証明する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: right;"> <p>所属名</p> <p>所属長</p> <p>所轄名</p> <p>所轄長</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">印</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">印</p> </div> </div>				
<p>注 1 年次別欄は、最近5カ年について記入することを原則とする。</p> <p>2 科目及び時間数については、科目ごとに遇担当時間数を記入すること。</p> <p>3 出願科目の研究と向上に努めた事項の欄には、具体的研究事項、講習等の出席につき記入すること。</p> <p>4 出願科目に対する教授能力の欄には、教授能力担当学科の成績感化及びその影響を具体的に記入すること。</p>				

非常勤講師に係る勤務日数等について

本籍				
氏名			生年月日	年 月 日
在職期間	勤務日数・時間	職名	勤務先 (学校名)	勤務内容(教科等)
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			

上記のとおり勤務したことを証明する。

令和 年 月 日

証明先
所属長

印

第8号様式（第8条—第15条関係）

身体に関する証明書

本籍

住所

氏名

生年月日 年 月 日生

身長	cm		体重	kg
視力	右	矯正（ ）	聴力	右
	左	矯正（ ）		左
疾病異状	既往歴			
	現症	結核性疾患		
		その他の疾患		
所見				

上記のとおり診断する。

年 月 日

住所
 検査 { 病院名
 医師名

印

注 所見は教育職員として勤務するのに適不適について総合的所見を記述すること。

修得科目一覧

勤務校

氏 名

沖縄県教育委員会免許法認定講習において、下記の科目を修得しました。

科 目 名	単位数	修得年度

※ 沖縄県教育委員会において上記の科目について受講が確認できない場合は単位として認めません。

第5号様式（第8条—第10条、第11条、第12条、第13条—第15条関係）

<記入例：幼・小・中・高の教諭の上進>

沖縄県収入

証紙貼付欄

教 育 職 員 検 定 願

令和〇〇年 〇月 〇日

沖縄県教育委員会 殿

本 籍 沖縄県〇〇市△-□番地

現 住 所 沖縄県〇〇市□-×番地

ふりがな おきなわ たろう
氏 名 沖縄 太郎

生年月日 昭和 〇〇年 〇月 〇日生

電話番号 〇〇〇-△△△△-□□□□

受けようとする 免許状の種類	高等学校 教諭 一種 免許状				
受けようとする 免許状の教科 又は教育領域	国語				
有する免許状の 種類	高等学校教諭二種免許状		教科又は 教育領域	国語	
番号	第〇〇号	授与 年月日	平成〇年〇月〇日	授与 権者	沖縄県教育委員会

※欄は記入しないこと。

※ 受 付	※判定	※ 不合格の理由

第3号様式（第3条—第16条関係）＜記入例＞

宣 誓 書

私は、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までに規定する者に該当しないことを宣誓します。

令和 〇〇 年 〇月 〇日

氏 名 沖繩 太郎

沖縄県教育委員会 殿

備考

教育職員免許法第5条第1項

第3号 禁錮以上の刑に処せられた者

第4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者

第5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

第6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

第4号様式（第3条、第8条－第9条の2、第10条、第11条、第12条、第13条－第15条関係）＜記入例＞

実務に関する証明書				
本籍	〇〇県			
氏名	〇〇 〇〇		生年月日	昭和〇年〇月〇日生
在職期間	在職年数	職名	勤務先	勤務内容（担任教科等）
自平成〇年4月1日 至平成〇年3月31日	3年	教諭	〇〇県立 〇〇高等学校	・国語
自平成〇年4月1日 至平成〇年3月31日	5年	教諭	〇〇県立 〇〇高等学校	・国語
自平成〇年4月1日 至令和〇年3月31日	5年	教諭	〇〇県立 〇〇高等学校	・国語
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
自 年 月 日 至 年 月 日				
<p>上記のとおり良好な成績で勤務したことを証明する。</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">所属名 〇〇〇〇 所属長 〇〇 〇〇 印</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin-right: 10px;"> <p>所轄名、所轄長について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校＝市町村教育委員会教育長 ・県立学校＝記入、押印不要 ・私立学校＝法人代表者（理事長） </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>所轄名 〇〇〇〇</p> <p>所轄長 〇〇 〇〇 印</p> </div> </div> <p>注：特別支援学校に勤務した場合にあっては、所属学部も職務内容欄に記入すること。</p>				

第6号様式（第8条—第15条関係） <記入例>

人 物 に 関 す る 証 明 書			
本 籍	〇〇県		
氏 名	〇〇 〇〇	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生
観察の区分	観 察 の 内 容		
性 格	悪い例：「良好」、「問題なし」など 良い例：真面目で何事にも真摯に取り組む。穏やかで人当たりもよく、同僚に対しても細やかな気配りができる。		
指 導 力	〇〇〇〇…	}	
研 究 心	〇〇〇〇…		
社 会 性	〇〇〇〇…		
勤 務 状 況	〇〇〇〇…		
教育職員としての適格性	〇〇〇〇…		
「観察の内容」については、上記の「性格」欄の例を参考に、教育職員免許状を授与するに足りるかどうかを判断できるような内容をご記入ください。			
上記のとおり証明する。 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
		所属名 〇〇〇〇 所属長 〇〇 〇〇	印
所轄名、所轄長について ・公立小中学校＝市町村教育委員会教育長 ・県立学校＝記入、押印不要 ・私立学校＝法人代表者（理事長）		所轄名 〇〇〇〇 所轄長 〇〇 〇〇	印
注：調査事項についてはできるだけ具体的に簡潔に事実をありのまま記入のこと。			

第7号様式（第8条、第16条関係） <記入例>

教科に関する証明書				
氏名	〇〇 〇〇	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生	
	在職学校	第〇学年 科目及び時間数	第〇学年 科目及び時間数	第〇学年 科目及び時間数
平成〇〇年度	〇〇県立〇〇高等学校	国語 〇時間		
平成〇〇年度	〇〇県立〇〇高等学校	国語 〇時間		
平成〇〇年度	〇〇県立〇〇高等学校	国語 〇時間	〇〇〇〇 〇時間	
令和〇〇年度	〇〇県立〇〇高等学校	国語 〇時間	〇〇〇〇 〇時間	〇〇〇〇 〇時間
令和〇〇年度	〇〇県立〇〇高等学校	国語 〇時間	〇〇〇〇 〇時間	〇〇〇〇 〇時間
出願教科に対する研究 と向上に努めた事項	〇〇〇〇…			
出願教科に対する教授 能力	〇〇〇〇…			
その他	〇〇〇〇…			
<p>上記のとおり証明する。</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: right;"> <p>所属名 〇〇〇〇</p> <p>所属長 〇〇 〇〇</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>} 所轄名 〇〇〇〇</p> <p>所轄長 〇〇 〇〇</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 所轄名、所轄長について ・公立小中学校＝市町村教育委員会教育長 ・県立学校＝記入、押印不要 ・私立学校＝法人代表者（理事長） </p> </div> <div style="text-align: right;"> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">印</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">印</p> </div> </div>				
<p>注 1 年次別欄は、最近5カ年について記入することを原則とする。</p> <p>2 科目及び時間数については、科目ごとに週担当時間数を記入すること。</p> <p>3 出願科目の研究と向上に努めた事項の欄には、具体的研究事項、講習等の出席につき記入すること。</p> <p>4 出願科目に対する教授能力の欄には、教授能力担当学科の成績感化及びその影響を具体的に記入すること。</p>				

<記入例>

非常勤講師に係る勤務日数等について				
本 籍	〇〇県			
氏 名	〇〇 〇〇		生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
在 職 期 間	勤務日数・時間	職 名	勤 務 先 (学校名)	勤務内容 (教科等)
自 平成〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	(週 〇 時間) (年間 〇〇 時間)	非常勤講師	〇〇県立〇〇 高等学校	〇〇〇〇
自 平成〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	(週 〇 時間) (年間 〇〇 時間)	非常勤講師	〇〇県立〇〇 高等学校	〇〇〇〇
自 平成〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	(週 〇 時間) (年間 〇〇 時間)	非常勤講師	〇〇県立〇〇 高等学校	〇〇〇〇
自 平成〇年〇月〇日 至 平成〇年〇月〇日	(週 〇 時間) (年間 〇〇 時間)	非常勤講師	〇〇県立〇〇 高等学校	〇〇〇〇
自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日	(週 〇 時間) (年間 〇〇 時間)	非常勤講師	〇〇県立〇〇 高等学校	〇〇〇〇
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			
自 年 月 日 至 年 月 日	(週 時間) (年間 時間)			

上記のとおり勤務したことを証明する。
令和〇〇年〇〇月〇〇日

証明先 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
所属長 〇〇 〇〇 〇〇 印

<記入例>

※紛失などにより、沖縄県教育委員会免許法認定講習の単位修得証明書の写しを提出できない場合のみ提出すること。
(県外の免許法認定講習を受講した場合、単位修得証明書は原本の提出が必要です)

修得科目一覧

勤務校 ○○立○○○○学校

氏名 ○○ ○○

沖縄県教育委員会免許法認定講習において、下記の科目を修得しました。

修得年度は元号で記載してください。

科目名	単位数	修得年度
○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 科目名は正確に記載してください。	2	平成30年度

※ 沖縄県教育委員会において上記の科目について受講が確認できない場合は単位として認めません。